

会 議 開 催 結 果

1 会議の名称	令和5年度坂村真民記念館運営協議会
2 開催日時	令和6年3月19日（火）午後1時30分から
3 開催場所	坂村真民記念館会議室
4 審議等事項	・報告事項 1 令和5年度事業報告について 2 令和6年度事業計画について ・協議事項 1 坂村真民記念館の魅力化について 2 その他
5 出席者名	【委 員】矢野徹志・高木貞重・石丸耕一・末武朝則・中城敏・客本泰子・野澤繁一 《7名出席[欠席者1名]》 【事務局】山本 勝彦（社会教育課長） 藤岡 毅（課長補佐） 山本 雄輝（文化スポーツ係長） 西澤 孝一（坂村真民記念館館長）
6 公開又は非公開の別	公開
7 非公開の理由	—
8 傍聴人数	0人
9 所管課	砥部町教育委員会 社会教育課 電話 962－5952

坂村真民記念館運営協議会会議録（要旨）

発言者	発言内容
事務局	会議の前に、3月2日(土)から開催している開館12周年記念特別展「真民さんの生き方」を西澤館長の解説により、観覧した。
会長	会長あいさつ
課長	教育長欠席のため、社会教育課長あいさつ
事務局	開会宣言 ここからの協議の進行は、坂村真民記念館運営協議会規則第4条第1項により、矢野会長に議長をお願いします。
議長	【報告事項(1)令和5年度事業報告について】
議長	報告事項(1)について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料の2～5ページにより、令和5年度の事業報告、観覧料、売店売上の推移等について説明。
議長	事務局の説明に対してご意見等はございませんか。
委員	「意見等なし」（全員）

議長 事務局 (西澤)	【報告事項(2)令和6年度事業計画について】 報告事項(2)について事務局より説明をお願いします。 資料の6、7ページにより、企画展・特別展等の計画について説明。 現在開催中の特別展が来年度にもまたがっていくということで、「真民さんの生き方」展を6月30日まで行う。 そして、7月6日から10月20日まで、昨年から取り入れた、夏休み企画展を通じて、小学生・中学生・高校生にも真民詩を知ってもらうために来館してもらおうということで、夏休み中に開催し、若い人にも分かりやすく、若い人が来てもらえるような、そういう展示というものを考えてやろうとしており、詩の内容もあまり難しい仏教の言葉とか、真民の生き方というのは非常に厳しいので、生き方を唄った詩はなるべく外して、小学生・中学生も十分分かるような、言葉で書かれた詩を中心に展示をしている。 課長からも話がありましたが、松山南高等学校砥部分校の1年生40人がいわゆる進級テストという形で好きな坂村真民の詩を1点選んで、それに対するイメージの絵を製作し、県美術館で毎年3年生の卒業制作展に併せて展示していただいた。 私も早速見に行ったんですが、非常に良かった。 生徒さんのそれぞれの個性、感性によって全く違うように描いていた。 私はこんな詩があったのかってというのが、5点ぐらいあった。 私も余り読んだことがない詩を選んだり、知らなかった詩もあった。若い人の感性に響くものがあり、美術館の展示だけではもったいないので、学校長、担任の技術の先生にお願いをして、夏休み企画展で全員の作品を展示させてもらうことを考えている。
-------------------------------	---

	10月からの企画展で「真民さんとたんぽぽ」を計画している。真民さんはたんぽぽの花が1番好きだということを言っており、詩の中にもたんぽぽを題材にした企画としている。 自分の家もたんぽぽという名前をつけるぐらい、坂村真民とたんぽぽは、切っても切り離せない題材となっている。これを今までこういう形のテーマで扱ったことがないので、これも分かりやすく、坂村真民がなぜたんぽぽを好きなのか、たんぽぽの魅力を真民はどういうところに感じてたのかという視点から企画している。また、自分で写真をたんぽぽが1面の大原に咲いてるようなイメージを私が持ってるので、写真をこの10月までに全国を回ってちょっと取ってこようかなと思っており、そういう写真も一緒に展示をしたいと考えている。 令和7年3月からは、特別展として、今やもう全国的な仏教の指導者としてはほぼトップに位置されてる円覚寺の横田南嶺管長さんと真民とのコラボ展を計画しています。 鎌倉の円覚寺では毎月、寺の中の掲示板と盆前に掲示板を二つ、真民詩を横田管長が書いて掲示している。 横田南嶺管長と鎌倉円覚寺は年間何百万人という修学旅行生とか、一般の方含めて、鎌倉のいわゆる名所でもある。 そうしたことで新聞、掲示板で知った。また管長が、毎月第2日曜日にお寺で講話をしておりユーチューブでも全国に流れているが10万人ぐらいが見ている。 そのユーチューブや寺の掲示板を見て初めて坂村真民を知ったという方が、もっと知りたいという気持ちを持って記念館に来館されている。 ここ3、4年特にユーチューブを見た方が、記念館に1回行こうと思ってきましたとアンケートに回答している。 そういうことから、横田南嶺管長とのコラボ企画展をすれば、またそういう方が全国からたくさん来てくれるのではないかとい
--	--

	う期待も込めて計画したいと思っている。 講座は、例年やっているが、町内の小・中学校は必ず年間数回行っている。各小・中学校の先生方と提携して毎年学校の授業の一環として学校で話をしている。県内の高校でも依頼があれば行くようにしている。 また、記念館の会議室での毎月 1 回、日曜日に真民詩詠み合わせ、随筆集の中から真民詩の本を詠んでそれを私が解説して、参加者と一緒に読み解いていくという講座を開館当初から毎年やっている。 現在、この運営協議会委員の方にもボランティアガイドをしていただいているが、これも開館当初から毎年、ボランティアガイド養成講座を開いている。 PR、広報が大事だということで、特別展は愛媛新聞、南海放送でテレビ、新聞、特に新聞は月に何回か大きな、枠でこの特別展の広報をしていますし、お金がかからない宣伝方法として、別資料として、SNS での発信をしている画面ページを添付しております。お金がかからない周知方法である。この後の議題の坂村真民記念館の魅力化につながるための問題提起していただくため、7 ページに展示、今後の展示計画を記載している。 令和 6 年度は夏休み企画展、砥部分校とのコラボ、そして真民さんとたんぼぼ、横田管長とのコラボ特別展を令和 7 年度にかけて開催予定。その次の夏休み企画展、そして企画展をまた二つ、これまで、33 回企画展、12 年間でやってきているが、これまでの切り口をできるだけ若い人たちにも分かるような優しい言葉でテーマを決めて、若い人にできるだけ来てもらえるようなそういうテーマで計画している。 開館最初は真民の教員時代を、それぞれの時代、三瓶、吉田、宇和島、砥部、その地でどういう生き方をしてどういう詩が生まれてきたかというのを年代から詩を紹介、真民と交流があった、相
--	--

	田みつをさんとか、この間亡くなった小池邦男さん、真民が浸透している森信三先生とのコラボ展というものを特別展でやってきた。 そういったことで、坂村真民を知る上での切り口はほぼ出尽くしたので、その後平成 30 年頃からは少しテーマの切り口を変えて坂村真民の生き方、あるいは坂村真民が好きだった草花、あるいは坂村真民の特徴的な箴言の言葉を扱った箴言詩、そうしたテーマとしてきた。令和 5 年からはそういうテーマはやめて、もう少し分かりやすく、若い人たちにも、来てもらえるようなテーマ、題名にしようということで、「一遍さんと真民さん」この坂村真民にとって一遍上人というのは非常に大事していた人物であるが、どういう人かというのは、ほとんどの人が知らない。 そこで、「さん」付けで分かりやすい、なじみやすいテーマにしたり、夏休み企画展をしたり、分かりやすい言葉で真民さんの願い、次が真民さんとたんぽぽという形でやってきている。
議長	説明が終わりました。 事務局の説明に対してご意見等はございませんか。
委員	「意見等なし」（全員）
議長	館長としての考え方はボランティアガイド養成講座を毎年 6 回ぐらいにしているが、できるだけ説明をしないガイドということの基本にしているんですね。
事務局 (西澤)	真民詩を知ってる知らないに関わらず、真民詩をゆっくりじっくり読んでもらいたく、先に知識を与える形で説明をすると、その説明に引きずり込まれてしまうのではないかという考え方から、ボランティアガイド養成講座の勉強会では、基本的な真民の生

	涯、代表的な詩の背景、そういうものは全て勉強してもらうが、ここでそれを最初から説明をするということはないようにしており、入館者から、質問があったら答えるという形にしている。例外として、全く坂村真民を知らない、知らなくて、誰かに誘われてきたとか、ちょっと聞いてみようと思ってきたとかいう人に対しては、少し導入部分的な解説を最初してもらっている。 当初からボランティア養成講座を受けた人数は、約 60 人以上ですが徐々に家庭の事情等で休まれて、現在、登録上は 40 人ぐらいですが、実際に活動してもらってる人は 20 人ぐらいである。
委員(野澤)	ボランティアガイドをしている私の場合、説明すると言われるのはちょっと困る。私の場合、ユーモアガイドとして、色々真民さんのことについて話をさせてもらっている。 お客さんからは、ある程度好評を得ているんじゃないかと思う。そういうやり方で私は松山城等のガイドになる人を増やしたものです。
議長	そのほか御意見等はございませんか。 御意見がないようでしたら、以上報告事項の説明を終わります。それでは、4 協議事項に移りたいと思います。 協議事項 1、「坂村真民記念館の魅力化について」を議題とします。 事務局より説明をお願いします。
事務局 (西澤)	【協議事項(1) 坂村真民記念館の魅力化について】 先ほども説明をして、重複をしますが、やはり 1 番の課題というのは、いかに来館者数を増やすかということで、記念館の場合には高齢者層に偏ってますので、若い人を増やしていくこと。

	方策として、昨年から夏休み企画展というものを、銘打って、そういう小・中学生向けの発見ですよという宣伝の仕方をして、そういう若い人に来てもらうということを今、取り組んでいる。 愛媛県は、小中学校の夏休み宿題として、自由研究というのがあり、愛媛の偉人について調べて、壁新聞、レポートにしてまとめるというのがある。それに合わせて、夏休み期間中に、自由研究のための講座を毎年 3、4 回やっている。 小・中学生に無料で、お母さんも、一緒に来て構いませんと言ったら、お母さんのほうが熱心に参加されている。1 時間程度、詩のポイント、展示を説明して、質問を受けている。小学生や中学生によって内容が違う。 それぞれの興味があるところをちょっと深く、他の人では、自由研究ができないようなポイントを私のほうから、教えてあげたりして、そういう中で毎年、生涯学習センターで最終的に県下全部を集めている。中でも坂村真民記念館で講座を受けた人がいい成績をとっている。優秀賞、県知事賞、数千人の県下の小中学生の中から 1 番になる人が 2 人出ている。 そういうことをやって、その下の若い世代を対象とした作品募集作品展示を学校と協力をできれば、夏休みの宿題的な形で学んでもらうという方法をとってもらうということと呼びかけていきたいと思う。 松山南高等学校砥部分校生とのコラボをこれで終わらせることなく、今後いろんな形で、分校の生徒さんたちとのコラボ展というのは継続してやっていきたいと思う。 また、SNS の効果です。これは先ほどちょっと資料で説明した SNS を発信しているが、実際に見て、来館されることはあるが、まだ数的には、この SNS というのは、活用できてないというかこちら側の発信の仕方がやっぱり皆さんが飛びつくような、発信となっていないというのが現実。ぜひ委員の皆様から、何かいいアイデ
--	---

	ア、御意見を申し上げます。
委員(中城)	南高の卒業制作、私も見に行った。 記念館でもぜひ展示して展示してほしい。
委員(末武)	県生涯学習センターにおいて、夏休みの展示で真民さんを研究した非常に立派な作品が出展してました。普通に調べたらこういうところまでは入っていけないのにすごく調べてるなあというか、館長さんの指導、助言があったということで納得したところですが、人物博物館ということで毎年夏休み期間に小・中学生からの作品展を継続していく予定。 松山南高分校の生徒さんとのコラボ企画を説明されていたが、1つの詩ですとか1つのことから、全く違ったイメージで様々な、ポスターが出てくるというのは非常に、面白いと思い、やはり捉え方というのはそれぞれいろんなとらえ方ができるのが詩の魅力だと思いますので、この企画はすごくいいと思う。
委員(石丸)	地元の人に来館してもらうのが大変である。 坂の上の雲ミュージアムは、松山市の中心地であるので観光客が多い利点がある。 活動(イベント)ができるスペースがあればいいと思う。 クリスマス等にナイトミュージアム、コンサートをして特別な感じを楽しんでもう企画とする。 ガラス面等に子どもたちに自由に絵を描いてもらう企画。(遊び心) グッズの開発・販売(魅力的なもの) 市町広域連携の活用をしたらいい。
委員(高木)	やるべきことはやっていると思う。

委員（中城）	若い世代をターゲットにする企画展の開催する計画のようだが、若い世代の 20 代から 40 代と、10 代では別にとらえたほうが良いと思う。 例えば子供というターゲットにした企画を考えるのであれば、砥部町内の親子のイベントをどうするかとか、そういう中で子供向けの企画に取り組んでいくというふうな考え方があるかと思う。 遠足で坂村真民記念館を取り入れたり、ホームルーム活動の時間に坂村真民さんの詩を鑑賞したりする中で、自分の人生の道しるべとなる人でありました。 松山南砥部分校の生徒さんの作品を見たが、年齢によって詩の捉え方、見方が違うので面白い、いろんなポスターができると思った。 詩を研究テーマに大学生研究してもらうのもよいのではないか。
委員（客本）	来館者は、真民ファンである。 砥部分校のコラボというのは昔、私もこの会で提案したことがありまして、それが実現したっていうのはすごくうれしく思う。
委員（野澤）	この坂村真民記念館も含まれる「砥部ミュージアム通り」は、本当すばらしい通りになって、これは大きな財産の一角になっていると思う。周辺施設との連携もどんどん広がっていくと思う。
議長	独自性を大いに守っていかないといけないが、新しい時代の流れ、新しい価値の創造を目指さないといけないと思う。 協議事項(1)について、他にご意見等ありませんか。
委員	「意見等なし」（全員）

議長	御意見がないようでしたら、以上協議事項(1)を終わります。
	【協議事項(2)その他】 次に協議事項(2)その他ですが、事務局から何かありますか。
事務局	事業計画でボランティアガイド養成講座の説明をしましたが、今年度、受講生は3人でしたが、その内の1人が高校2年生であり、ボランティアガイドにも若い方が興味を持って参加もしている。この運営協議会は年1回開催ということで、来年度も1回の予定です。 今の委員の任期は、令和6年7月末までとなっております。また引き続きお願いをさせていただきたいのでよろしくお願いします。
議長	他にないですか。
委員	「なし」(全員)
議長	他にご意見もないようなので、事務局へ進行を戻します。
事務局	委員の皆様、たくさんのご意見をいただきありがとうございました。本日いただきました貴重なご意見を1つでも多く形にできればと思います。 以上で令和5年度坂村真民記念館運営協議会を終了します。 閉会 (午後3時25分)